

大和都市計画（奈良国際文化観光都市建設計画）駐車場整備地区

に関する都市計画の変更案を作成するための公聴会の結果

本市では令和7年9月12日（金）から令和7年9月26日（金）までの間、都市計画変更原案に関する図書の閲覧を行い、令和7年10月5日（日）に公聴会を開催しました。

1. ご意見の提出状況

（1） ご意見の提出者数（提出方法別内訳）

提出方法	
専用フォーム	1 通
郵便・信書便	1 通
ファクシミリ	0 通
電子メール	0 通
持参	0 通

（2） ご意見の件数 2 件

2. ご意見の内容及び本市の考え方

いただいたご意見の内容及びご意見に対する本市の考え方については別紙の通りです。

ご意見の内容及び本市の考え方

意見 No.	公述人ご意見の要旨	本市の考え方
1	今回の駐車場整備地区につきまして変更、廃止されとの事です結論から申しますと私は賛成です。 理由は以下の通りです。 ①この計画が出された 1988 年、昭和 63 年の日本における自動車所有台数は約 5,260 万台、それが今年 6 月時点で 8,300 万台と 1.5 倍になっております。このように車がどんどん増える予測の中で駐車場整備が計画されたものと思います。ただし、今後は 2050 年時点で 6,400 万台と予測され 1,900 万台の減、理由は少子化と高齢化によるものだと思います。一方、奈良の観光に目を向けますと正式な発表ではありませんが、公共交通機関を利用する人の理由は「渋滞がひどい」「駐車場が少ない」などが挙げられ、一見駐車場の整備が必要な印象を受けますが、実態としては、周辺道路の整備が進まずに市内までのアクセスが悪い事が電車を選ぶ理由になっていると思います。駐車場が先か道路が先か、これはニワトリが先か卵が先か、かも知れません。現時点で道路整備が進み車でアクセスが大幅に改善されるとは思えません。また、奈良を訪れる年齢層は、20～30 代が約 60%、60 歳以上が 25%、60 歳以上の中で女性が 68%で約 7 割を占めています。更に地域別では 70% 以上が関西地区からの観光客である事から若者の車離れや高齢女性が多い事で、車より電車を利用する傾向があるようです。この数字は近年大きくは変わっていませんし今後も変わらないと思います。従いまして駐車場は必要ないと考えます。 ②私はよく奈良公園やその周辺を散策しますが、駐車場を見ても空きがあります。東大寺周辺、特に高畑駐車場やその周辺の駐車場をみても、駐車場に入る為に列を作っている状況は見受けられません。ただ、これは先程述べた通り一概に車で奈良市内に来る人が少ないとは言えず「道路事情が良くない」「市内の渋滞がひどい」などの背景がある事も事実です。 ③とは言え、今から大規模な駐車場を駅周辺に整備する必要は無いと考えます。 ただ、足元を見ますと駐車場は満足出来る状況でない事も事実です。「奈良に行きたいが駐車場が少ない」「駐車場の場所が分かりづらい」「駐車料金が安い」などの声があります。しかし、今後は高齢化によって電車ではなくむしろ車での奈良観光の需要は増えると思います。つまり、高齢で電車での移動が困難となり奈良へ行く事を躊躇する人が増えると思います。半面高齢になっても「奈良を訪れたい」と思う気持ちは変わらず	奈良公園、平城宮跡などを含む中心市街地では、観光を目的とした自動車交通による、交通渋滞や環境の悪化などの問題が深刻です。本市は奈良県と連携し、公述いただいた通り奈良市役所等でパークアンドライドを実施し、奈良公園周辺に自家用車が流入しないよう取り組みを進めているところです。 J R 奈良駅周辺地区では駐車場が供給過剰であり、自動車交通の著しい輻輳は認められません。また、上記の取り組みを実施していることから、駐車場整備地区を廃止したいと考えております。いただいたご意見については、関係部局にも共有するとともに、施策の参考にさせていただきます。

	また、その方々を迎える魅力が奈良には沢山あると思っています。今月末から始まる正倉院展が良い例だと思います。その受け入れを充実させる為に駐車場の充実は必要ですが、大切な税金を投入して新たな駐車場をつくるよりも現状の駐車場を最大限に活用し駐車場不足を解消することが大切と考えます。 具体的には①民間駐車場との連携②パーク＆ライドの推進（今は観光シーズンだけでその期間を広げる）、電動自転車の導入（私の友人も利用した事がありますが坂が多く奈良市内はしんどいと言ってました）更にセキスイ化学工業の跡地の活用拡大が考えられます③ソフト面では駐車場の空き情報の提供（今は情報提供を終了しているようですが）など、量より質、言い換えれば快適さを求める事が大事になると思っています。その為に行政と市民が一体となって改善出来る事は沢山あると思っています。今後ますます「奈良へ行って良かった」何より「また奈良へ行きたい」と思っただけの場所になればいいと思っています。 最後に何十年も前に計画された事が本当に現状にマッチしているのか、今後とも必要とされるのか？を再検討し、必要に応じて一旦立ち止まって見直していく行政であって欲しいと願っています。その意味でも今回の見直しは非常に重要だと思います。	
--	---	--

なお、「奈良市都市計画公聴会規則」に則さない形式ですが、下記の通りご意見をいただきました。

意見 No.	いただいたご意見	本市の考え方
1	① 進め方が問題 何の説明もなく唐突に廃止案なるものが提示され一方的に定められた僅か1日の日程で意見があるなら述べよ、というのはやり方があまりにも杜撰。後にも述べるが廃止の理由が全くなっていない。そもそも説明が無いのに意見の述べようもない。行政が一方的に決めた内容を正当化する為だけのアリバイ作りとしか考えられない。内容を説明することからやり直すべき。 また「公聴会で公述ができる人は・・・市長が選定しその旨を通知した人としします。」とあるがこれは市にとって都合の悪い意見を選定せず賛成等都合の良い意見だけを選定するという事に他ならずそんな公聴会になんの意味があるのか。 ② 廃止の理由が不当 近所の住民感覚として駐車場が十分では全くない。駐車できずに彷徨っている車、特に他府県ナンバーが多々あり生活の妨げになっている。「駐車需要及び供給量を調査した」とあるがいつどの様な調査をしどの様な結果であったかがどこにも示されておらず何の根拠にもなっていない。きちんと調査をしていないにも拘らず調	①について 奈良市都市計画公聴会規則に基づき公述申出書を受け付けました。市長が選定し通知した人を公述人とする理由は、いただいたご意見が当該公聴会に係るご意見でない場合や、同一趣旨の公述申出書が複数ある場合に対応するためです。過去に開催した他の公聴会では、賛成と反対の両方のご意見を公述いただいております。 ②について 現在の駐車需要及び供給量調査として、地区内の駐車場の利用状況及び路上駐車状況を調査いたしました。その結果、空きが見受けられる状況であり、地区内で渋滞を引き起こすような路上駐車は認められませんでした。将来の

	査の結果問題ないとするのならば行政に都合の良い方向へ誘導するものに他ならない。また「将来の交通需要を予測した」とあるがこれも何ら具体的な事が示されておらずそもそも実施しているも不明であり全く話にならない。 また整備事業が完了してから２０年が経過し建設工事が完了したとあるが地区内で建築工事は今もいたる所で行われており事実と反する。さらに２０年を経過したのなら今後は建物の更新時期を迎えていくことになる。駐車場が確保されていた建物が駐車場が確保されない建物に更新されれば更に駐車場が不足する。また地区内には現在青空駐車場になっている所も多数。今後そこに新たに建物が建った際に駐車場が無ければ駐車場不足により路上駐車が溢れ渋滞が悪化するのとは明らか。近年は特に観光客の増加で駐車場の需要は増えている。これらの課題が全く加味されず駐車場整備地区を廃止するなどあってはならない。断固反対。	交通需要については、現在の更地で開発が進展したケースを想定し、大規模開発地区関連交通計画マニュアルに基づき算出しております。そこで発生した交通需要に対しては、奈良市開発指導要綱に基づく駐車場の設置指導で対応すると共に、要綱適用外の施設については、仮に各施設で駐車場が用意されなくても、市営駐車場で対応可能と考えております。 観光による交通渋滞や環境の悪化などの問題については、本市は奈良県と連携し、奈良市役所等でパークアンドライドを実施し、奈良公園周辺に自家用車が流入しないよう取り組みを進めているところです。 J R奈良駅周辺地区では駐車場が供給過剰であり、自動車交通の著しい輻輳は認められません。また、上記の取り組みを実施していることから、駐車場整備地区を廃止したいと考えております。いただいたご意見については、関係部局にも共有するとともに、施策の参考にさせていただきます。
--	--	--